

竹田城址観光

令和2年9月 足立秀一記

今から11年前（2009年）の9月に豊岡市に仕事で行ったついでに観光してきた時の写真です。「金剛山シルバー登山隊」の方々が訪ねられた1年前です。カメラは、多分持参していなかったと思うのでスマホの前のガラ携のカメラだったと思います。

その当時は今のように有名観光地でなく訪れる人も少ない時期でした。

城跡へは、山の中腹の駐車場に車を止めてそこから山道を20～30分かけて登って行くので、お年寄りには少しきついところでした。

しかし、私は、中腹の駐車場に車を止めず、行ける所まで車を走らせた所、城跡の大手門の石垣の所まで行くことが出来ました。

すなわち山頂の城跡の入り口まで労せずに行き着くことが出来たのです。多分、今は、有名観光地となりそこまで車では行けなくなっているでしょう。

訪れて感じたのは、大々的に観光者を誘致すると良い所と思いましたが、今では、私が思った通り、「日本のマチュピチュ」・

「雲海に浮かぶ城跡」として有名になっています。

城跡が、雲海に浮かぶ姿は、一度は、肉眼で見たいと思うのですが、それにはクリアすべき課題が多すぎて、諦めています。

城跡だけでも見ごたえがあると思います。

真ん中に見える広場は、城跡への入り口の
駐車場。左下に見えるのが中腹の駐車場です。



山上の天守台跡を望む

車でたどり着いた大手門の石垣です。



天守台から望む景色です。右下に見える川は麓を流れる円山川です。



天守台から望む城跡



天守台跡を望む



大手門付近より城跡を望む



麓を流れる円山川です。



この奥が立雲峡です。こちらに雲海に浮かぶ竹田城跡を望めるポイントがあります。



最後に、竹田城跡についての説明を加えさせていただきます。

足利氏が京都に幕府を開いた室町時代。「応仁の乱」の西軍総大将としても名高い但馬守護山名宗全（持豊）によって播磨と但馬の国境を守る拠点として、また播磨を攻撃するための出撃拠点として、重要な役割を担う山城として、1443年に竹田城は築城され、太田垣光景を初代城主とした。安土桃山時代。羽柴秀吉（のちに豊臣秀吉）の弟秀長は、但馬の諸将制圧と生野銀山確保のため竹田城を攻め制圧後に城代となりました。その後、秀長の属将桑山重晴を経て、龍野城主赤松広秀が、竹田城最後の城主となりました。

1600年関ヶ原の戦いで西軍に属した赤松広秀は敗北を喫し、その後、東軍亀井氏の誘いで鳥取城攻めを行うものの城下大火の責を負わされ、家康の命により自害させられ、同年廃城となる。廃城後には建物もなくなり、現在の石垣だけが残る竹田城跡へとりました。

竹田城跡は、多くの映画のロケ地として使われています。

- ①『影武者』（1980年）
- ②『天と地と』（1989年、春日山城として使用）
- ③『暴れん坊将軍Ⅲ』
- ④『魔界転生』（2003年、原城として使用）
- ⑤『あなたへ』（2012年、「天空の音楽祭」場面で使用）
- ⑥『天地明察』（2012年、小田原城として使用）
- ⑦『忍たま乱太郎 夏休み宿題大作戦!の段』（2013年）
- ⑧『軍師官兵衛』（2014年、小田原の石垣山城として使用）